

令和4年度 自己点検・評価報告書

《評価対象期間》

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

令和5年5月10日作成

学校法人 都築学園
専門学校 第一自動車大学校

学校法人 都築学園
専門学校 第一自動車大学校
校長 江崎 久

令和4年度 自己点検・評価報告書

学校法人都築学園 専門学校第一自動車大学校は、令和4年度の自己点検・評価を実施致しましたので、学校教育法施行規則第189条に則り「令和4年度 自己点検・評価報告書」を公表致します。

本校は、教職員一同、教育の質の向上、合規適正な校務運営、透明性の確保等、より良い校務運営に取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【自己点検・評価責任者】

校長 江崎 久

【評価対象期間】

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

【作成日】

令和5年5月10日

【第一自動車大学校の概要】

1 教育理念目標

本校は平成元年創立で34年目をむかえる歴史ある自動車整備士養成の学校である。創立以来「個性を伸ばし、自信をつけさせ、世界に送りだしたい」を教育目標とする。

2 令和4年事業計画目標

(1) 教育

ア 一級自動車メカニックコース

- ・ 2年後の自動車整備士制度等の見直しに伴い、自動車の点検・整備・検査に係る専門的な知識及び技能（電子制御装置に係る内容）を有し、各種の整備用診断器を用いて応用的な故障探求ができる技能水準を身に着けさせる。
- ・ 環境保全や安全管理に適応できる車の電子制御装置の発達やハイブリッドカーの普及に伴い総合的業務に対応できる整備士を育成する。
- ・ 最先端設備を揃え、高いレベルの技術を習得させ、インターンシップにおいて現地確認の機会を活用し、現場の情報を収集しながら社会で活躍でき、お客様に分かりやすく

情報提供ができるスキルを身につけさせる。

- ・ リサイクルを考慮した整備手法や、総合的な故障診断から整備計画の作成手法を習得させる。
- ・ 新型コロナ感染状況を顧慮しながら定期的にオンライン授業を実施し、国家試験対策授業を工夫しながら、一級小型自動車試験合格率100%を目指す。

イ 未来型パワーユニットコース

- ・ ソーラーパネルやリチウム電池を利用した電気自動車（EV）、水素を使用した燃料電池車（FCV）エンジンとモーターを併用するハイブリッド車の構造や理論を習得させる。
- ・ 将来の「スカイカー・ドローン」までを含めそれらの動力システムの構成・制御・整備について学び自ら考える能力を高めていく。

ウ メカニックコース

- ・ 2年後の自動車整備士制度等の見直しに伴い、自動車全体に関する一般常識の知識及び技能を有し、単独で分解整備作業が行える水準まで身につけさせる。
- ・ 新教育カリキュラム制度導入（サイクル型）で、学生の出席率向上と学習意欲アップを図るとともにきめ細やかな教育を実践する。
- ・ 少人数制及び習熟度別クラスを編成し基礎を理解させ、自動車社会の多様なニーズに適応できるレベルの専門教育や失敗を恐れず、挑戦する勇気をもった人間性の育成を行う。
- ・ 足廻りの分解整備から、エンジンに関わる分解修理等の実習に力を入れ、基本的な作業の反復練習を行いながら、就職後即戦力として働けるよう技術力向上に努める。
- ・ 国家試験対策授業を色々工夫しながら二級自動車ガソリン・ディーゼル国家試験合格率100%を目指す。

エ 留学生基礎自動車整備士コース

- ・ 日本語教育の強化を図り、N2もしくはN3に合格できるように授業の工夫と教職員のスキルアップに取り組む。
- ・ 地域に貢献することにより、日本の文化にふれさせ、また積極的に意見交換を行いコミュニケーション能力を身につけさせる。
- ・ メカニックコースの教育への円滑な導入を図るため、外部の自動車教習所と連携した合宿により普通自動車運転免許を取得させる。

(2) 学生支援（進路指導含む）

ア ディーラーと連携をとり、「インターンシップ」を1年生の12月に実施し、早めに就職にむけての意識改革を図り、希望会社への就職活動をサポートする。

イ 履歴書作成・面接・企業へのアプローチ方法等について、外部講師や担任による個人指導を随時行い、卒業生からのバックアップ等のフォロー体制もとりながら就職率100%を目指す。

ウ 教職員で月1回社会人としてのスキルを身につけさせるため、礼法指導を実施し、規律正しい挨拶を身につけさせる。

エ 卒業生のいる企業等に出向き、業務見学や面談により積極的に情報収集をする。

(3) 募集・広報

ア SNSやホームページ等の電子媒体の積極的な活用に努めるとともに、高校訪問を含む各種広報手段の成果等のデータを継続的に収集・分析し、効率的・効果的な広報に努める。

特に、Z世代を意識したSNSの制作、発信を意識し、早期かつタイムリーに広報する。

イ 中学・高校の体験学習を募集し積極的に受け入れるとともに、オープンキャンパスやオンライン学校説明会を活用し高大連携教育の深化・拡大に努めるとともに、産学連携を積極的に推進し、若者が興味を引く教育内容・要領に留意する。

ウ 通学圏内のJR等公共交通機関沿線の高校及び、離島を含めた県外の自動車整備専門学校の空白域を重視した高校訪問を年間計画に基づき行い、効率的・効果的な募集広報に努める。

エ 在学中の留学生に対し、学校施策やオープンキャンパス等の情報を積極的に提供し、ヒューマンネットワークや口コミによる募集広報の環境を整備する。また、日本語学校訪問、オープンキャンパス等の募集広報の終始を通じ、日本語能力がN2以上で、自動車整備に関心が高く、学習意欲も高い学生の確保に留意する。

オ オープンキャンパスで各ディーラーとコラボ企画を計画し、現在最新装備を備えている若者に人気の車を本校に持ってきていただき、試乗体験などのイベントを通じて自動車整備士に興味を持たせる。

【自己点検評価の目的】

文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」にそって、本校の教職員・事務職員全員に実施し、自己の客観性・透明性を高め、学校運営の取り組み方、実施方法について改善を図る。

【評価の要領】

学生へのアンケート調査を踏まえ、教員及び事務職員が評価項目に従い、4段階評価により自己点検・評価を行い、総合的に評価分析し、学校としての今後の課題と改善策を明らかにする。

【評価項目】

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守・内部質保証
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

【評価表記】

4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

【評価の結果】

(1) 教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げ、その方針に則り各自の能力及び特性に応じ社会の要求に即応した一級自動車整備士を6年、二級自動車整備士を30年以上に渡り育成し、我が国の自動車産業の技術の振興に寄与している。

また、自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する一級自動車整備士コースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えるとともに、日本人学生と海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして職業人養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	4	③	2	1
1-1	学校は教育理念・目的・育成人材像を定めていますか	自己評価 具体的取り組み 課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>「個性を伸ばし、自信をつけさせ、世界に送り出すこと」を教育目標として掲げ、自動車業界の技術の振興に寄与する人材の育成のため整備士を希望する学生・社会人を広く受け入れ、担任制により個々に応じたきめ細やかな教育を行うとともに、自動車業界の即戦力として活躍できるよう、必要な平素の躰指導含め、国家試験合格に向け反復して過去問題を解かせ、解説・補備を行い理解力を高められるよう全職員が一丸となって取り組んでいる。</p> <p>(課題)</p> <p>即戦力となりかつ自動車の新技術等に対応できる人材像の更なる探究</p> <p>(改善策)</p> <p>業界団体との密接な連携による将来に必要な不可欠な人材像の具体化</p>			
1-2	学校における職業教育は適切に定められていますか	自己評価 具体的取り組み と課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>国土交通省の指定校としての基準以上の教育時間数を設け、一級・二級自動車整備士資格取得に必要な科目体系を毎年の国家試験の傾向や受験結果、学生の素養等を踏まえ検討するとともに、業界団体の意見を踏まえたインターンシップ等への参加による将来像の具体化、職業教育を重視したシラバス及びカリキュラムを定めている。</p> <p>(課題)</p> <p>メカニックコースが国家試験合格率100%を達成、残念ながら一級メカニックコースについては50%となった。引き続き継続して100%合格を目指し努め</p>			

			<p>る必要がある。</p> <p>(改善策)</p> <p>学生の学力の継続的かつ確実な把握と学力レベルに応じた努めて早い時期からの教育の実施</p>
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えていますか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>電気自動車及びハイブリッド等自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い最先端技術を有する一級メカニックコースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えている。また、次世代のエネルギーを学び考える未来型パワーユニットコース開設など学ぶ環境も整えている。日本人学生と海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かした職業人としての養成を行い社会に貢献する学校を目指している。</p> <p>(課題)</p> <p>社会経済のニーズの継続的かつ的確な把握及び魅力的な専門学校づくりを行い、時代に適した実習車による教育の実施が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>高校及び業界団体との連携の更なる強化が必要である。</p>
1-4	学校の理念・目的・人材育成・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されていますか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>約32年に渡り、多くの自動車整備士を輩出してきた実績を踏まえ、ホームページ上での情報公開や学校パンフレットの配布、入学前のオープンキャンパス等の募集広報の段階から学校の理念・目的等について周知を図るとともに、入学後は、学生便覧の配布による教育理念の明示、学生・保護者に対し入学式・オリエンテーション・3者面談等のあらゆる機会を通じ、重複をいとわず説明を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>将来構想に関しては、周知すべき範囲・内容の具体化について検討する必要がある。</p> <p>(改善策)</p> <p>将来構想の更なる具体化と学生・保護者に周知すべき時期・内容・要領の検討</p>
1-5	学科・コースの教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界の人材ニーズに向けて方向付けられていますか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>我が国の自動車産業の技術振興に寄与しうる有為な人材を育成するという理念のもと、その達成のための教育目標・育成人材像の方向付けを定めている。</p>

			<p>(課題)</p> <p>学科等に対応するニーズの的確かつ継続的な把握</p> <p>(改善策)</p> <p>自動車整備振興会、JAMCA、自動車関連業者、各社ディーラー等から積極的かつ継続的に社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向に関する情報を入手し、教育目標や育成人材像への影響について継続的に分析し反映、教員等は自動車整備振興会や各社ディーラー等の外部講習を着実に受講する。</p>
--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 学校運営

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め、中長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果を分析し、年度の教育、就職支援、募集広報等について事業計画を策定し、法人の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	④	3	2	1
2-1	学校運営・目的等に沿った運営方針が策定されていますか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め学生便覧の中でも明示している。</p> <p>(課題)</p> <p>自動車整備士に対する社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向を踏まえた学校運営方針の継続的な検討</p> <p>(改善策)</p> <p>学校関係者評価を活用した継続的な検討</p>			
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>「教育指針」を踏まえ、教育、就職支援、募集広報等について具体化し事業計画を定めている。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>事業計画の更なる具体化</p>			
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>法人の規定に学校運営組織、意思決定の権限・手続き等主要な事項が定められており、着実に実行している。</p> <p>(課題)</p> <p>学校としての法人規定の更なる具体化が必要</p>			

			(改善策) 法人の規定を踏まえた学校の規定の整備・具体化が必要
2-4	人事等に関する規定等は整備されていますか	自己評価	④ 3 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 法人の規定に定められている。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。
2-5	教育活動等に関する情報公開が適切になされていますか	自己評価	④ 3 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 授業科目一覧表、シラバス、年度事業計画、自己点検・評価報告書等を学校ホームページに掲載している。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。
2-6	情報システム化等による業務の効率化が図られていますか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 学内統合情報システム S-W i n g を導入し、学生の出席・成績等の管理等、校務業務の効率化を図っている。 (課題) S-W i n g の機能の十分な活用ができていない。 (改善策) S-W i n g の活用要領の普及教育及びマニュアル化

(3) 教育活動

国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等によりわかる教育、わからせる教育をモットーに、留学生を含む学生一人一人の個性を活かし、学力に合ったきめ細やかな授業体制の中で基本に力を入れ、一・二級自動車整備士合格率及び就職率100%達成に向けて全教職員一同全力を注いでいる。また、一・二級自動車整備士以外の自動車関連の資格取得を積極的に奨励し、学生の一・二級自動車整備士としての自覚及び技術の向上に努めている。

	評価項目	評価結果				
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が査定されていますか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 教育理念に基づき「理論学習」と「実践学習」のバランスのとれたカリキュラム構成がシラバスで具体化されている。 (課題)			

			卒業後、実社会で即戦力となれるよう、より実践的な教育課程の編成。 (改善策) 卒業生の追跡調査と教育課程の編成への反映
3-2	教育理念・育成人材や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確化されているか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 国土交通省の指定校としての基準時間以上に学習時間を確保し、授業科目一覧表、シラバスで明確化されている。 (課題) 令和4年度は、二級自動車整備士の国家試験100%合格を達成。継続に努める必要がある。 (改善策) 学生の個々の特性・能力に応じた融通性ある学習時間の確保
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されていますか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 授業科目一覧表、シラバスで明確化するとともに、3年生及び4年生のカリキュラムの内容の見直しをしている。 (課題) 令和成4年度は、自動車整備士の国家試験一級50%、二級100%合格を達成。合格率向上に継続的に努める必要がある。 (改善策) 学生の個々の特性・能力に応じた融通性ある学習時間の確保と早期からの国家試験対策の実施
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方針の工夫・開発が実施されていますか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) コロナ禍のため企業との連携が思うように行うことが出来ず、キャリア教育を十分に実施することが出来なかった。 (課題) 実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの充実 (改善策) 実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの更なる研究と工夫
3-5	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われていますか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 自動車整備振興会や企業研修・インターンシップ先の現場意見を聴取し、カリキュラムや実施要領に反映させている

			<p>(課題)</p> <p>インターンシップ以外の科目への関連分野の企業等の意見の反映</p> <p>(改善策)</p> <p>学校評価委員会の活用及びより積極的な企業等からの意見聴取</p>
3-6	関係分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられていますか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>企業研修やインターンシップが体系的に位置付けられている。</p> <p>(課題)</p> <p>実践的な職業教育の設定が不十分</p> <p>(改善策)</p> <p>実践的な職業教育の科目の充実</p>
3-7	授業評価の実施・評価体制はありますか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>学生に対するアンケートや自己点検・評価アンケート、教員相互の授業見学等を行っている。また、留学生基礎コースについては、その都度アンケートを実施している。</p> <p>(課題)</p> <p>実施の根拠・要領等制度化が不十分</p> <p>(改善策)</p> <p>授業評価の実施・評価体制の検討と制度化</p>
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定基準は明確になっているか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>学則に定め学校ホームページでも公表している。また、オリエンテーション時に周知徹底している。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置付けはあるか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>国家試験を念頭に置いてカリキュラムを構築するとともに国家試験担当教諭を指定し組織的に教育を行っている。また、資格試験前は補習等実施し資格取得のサポートを行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>令和4年度は、自動車整備士の国家試験二級100%、一級50%の合格を達成、引き続き継続して合格率向上</p>

			に努める必要がある。 (改善策) 学生の個々の特性・能力に応じた柔軟性ある指導体制の構築
3-10	人材育成目標の達成に向け授業をおこなうことができる要件を備えた教員を確保しているか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 自動車整備関連の多様な経歴と実績及び資格を有する専任教員及び非常勤講師をバランスよく確保するよう努めている。 (課題) 十分かつ安定的な一級自動車整備士・二級自動車整備士資格保有教員の確保 (改善策) 資格保有者に関する継続的な情報収集及び募集
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 自動車整備振興会や関連分野の企業等との連携を維持し、優れた人材について広範囲に情報収集するとともに、逐次教員募集・採用業務を推進している。 (課題) 一級自動車整備士資格保有者の安定的な確保 (改善策) 継続的な情報収集及び関連企業等との連携の更なる強化
3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上の取り組みがなされているか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 自動車整備振興会等で実施される関連分野の研修会に教員を参加させている。 (課題) 教員数に余裕がないため、授業進度により参加できない場合がある。 (改善策) 継続的な募集による教員の確保
3-13	職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか	自己評価	4 3 ② 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 福岡近傍で企画される各社ディーラー主催による関連分野の研修会、JAMCA研修会、自動車整備振興会整備主任者研修、福岡県人権・同和教育研修会等に教員を参加させている。 (課題) 一級自動車整備士資格獲得のための環境の構築

			(改善策) 継続的な募集による教員の確保と教員の研鑽の場の提供
--	--	--	------------------------------------

(4) 学修成果

一級自動車メカニック整備士コース、メカニックコース、留学生基礎自動車整備士コースそれぞれ毎に明確な目標を設定し、結節毎の評価判定と個々に応じたきめ細やかな教育により、段階的な実力向上を図っている。

令和4年度は、自動車整備士国家試験を受験した留学生が100%合格できたことは、大きな成果であったが、日本人学生が一部合格できなかったことについて、今回の結果を踏まえてよく分析・検討し、教員の能力向上を含め今後の教育に反映していく。

退学率の軽減策については、担任制により、自己発見検査やスクールライフアンケートを活用した学生の心情等の把握に努めるとともに、職員間の情報の共有により組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っている。

就職に関しては、日本人学生、留学生ともに100%就職できており、着実に就職指導の成果があがっている。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	④	3	2	1
4-1	就職率向上が図られているか遅刻	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み) 放課後を活用した個別の採用面接対応等の実施により、日本人学生、留学生共に100%就職できている。</p> <p>(課題) 一級・二級自動車整備士資格保有者を、より好条件で希望するディーラー等への就職</p> <p>(改善策) きめ細やかなアフターケアによる企業等関連業界との信頼関係の維持・強化及び拡充</p>			
4-2	資格取得率の向上が図られているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み) 自動車整備士の国家試験を念頭に置いてカリキュラムを構築するとともに、国家試験の担当教諭を指定して組織的に資格取得率の向上を図っている。</p> <p>(課題) 令和4年度は、国家試験一級自動車整備士50%、二級自動車整備士100%合格を達成。しかしながら全員合格とならなかったことから、不合格の原因を分析するとともに、今回の結果を踏まえた学習方法の改善等の検討が必要である。</p> <p>(改善策) 学生の個々の特性・能力に応じた柔軟性ある指導体制の構築</p>			

4-3	退学率の軽減が図られているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>自己発見検査やスクールライフアンケートで学生の心情等の把握に努めるとともに、担任制によりきめ細やかな指導を行っている。また、教職員間の情報共有により組織的な体制を構築して退学率の軽減を図っている。</p> <p>(課題)</p> <p>学力不足により教育について行けない学生、学習意欲の低い学生や自動車整備に興味の無い学生への対応</p> <p>(改善策)</p> <p>教職員の充実による学生の個々の特性・能力に応じたきめ細やかで柔軟性ある指導體制の構築</p>			
4-4	卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>副校長はじめ教職員の会社訪問を実施して現状を把握するとともに、各就職先で活躍する卒業生を学校案内等に掲載する等卒業後の活躍状況の把握・評価・広報に努めている。</p> <p>(課題)</p> <p>企業訪問等で卒業生の状況を確認しているが、卒業生に関するデータの蓄積が学校として整理不十分である。</p> <p>(改善策)</p> <p>自動車関連業界や各ディーラー等で活躍する卒業生名簿の整備</p>			
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>インターンシップや就職支援の機会を活用し卒業生の現状把握に努め、教員間の情報共有による教育活動の改善に努めている。また、基礎コースにおいて、ビジネスマナー教育を取り入れキャリア形成の一助としている。</p> <p>(課題)</p> <p>就職担当教員や卒業生の担任による情報収集が主体となっており、十分把握出来ていない部分もある。</p> <p>(改善策)</p> <p>就職先企業等に対するアンケート調査の実施について検討する。</p>			

(5) 学生支援

就職支援策については、各種教育を通じて、入学時から学生の職業意識の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当によるきめ細やかな就職・進路指導により、概ね希望方面に100%就職できている。

経済的な支援に関しては、学校独自の特待生制度を保持するとともに、複数の担当事務職員の指定により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を可能な限り有効に活用できるように、学生、保護者が利用しやすいきめ細やかな支援体制を整備し、懇切丁寧な対応に努めている。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	4	③	2	1
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>就職担当、クラス担任を中心に履歴書記入要領、面接指導、相談等を行い、学生の希望に沿った進路、就職支援体制を整備している。</p> <p>(課題)</p> <p>留学生の増加に伴う就職支援体制の強化</p> <p>(改善策)</p> <p>就職支援担当教員の補佐者の指定による就職支援体制の構築</p>			
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>クラス担任制によるほか、事務職員を含め相談内容に応じた対応者を指定するとともに、必要に応じ副校長主導による相談体制を確立し総合的な対応を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>出身国を考慮した留学生のコミュニケーション体制の整備が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>留学生の同級生や上級生の協力による情報収集と教職員間の情報共有による効果的な相談体制の整備</p>			
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>AO入試、指定校推薦等学校独自の特待生制度による校納金の一部免除を行うとともに、複数の担当事務職員の指定により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を利用し易いきめ細やかな支援体制を整備している。</p> <p>(課題)</p> <p>学生及び保護者の認識が低いため、オープンキャンパス及び入学前に日本学生支援機構奨学金説明会の実施が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>保護者への積極的な情報提供及びクラス担任を含めた継続的な新修学支援制度に関する普及教育</p>			

5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>定期健康診断及び就職前の総合健康診断を行うとともに、健康管理に関する事務職の担当者を指定し、クラス担任等と連携した日々の健康管理指導を実施している。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の各種施策を推進している。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>			
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>クラス担任等が学生の希望に応じ可能な範囲で支援を準備しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から清掃活動ボランティア以外実施できていない。</p> <p>(課題)</p> <p>教職員の組織的な支援体制については十分整備できていない。</p> <p>(改善策)</p> <p>定期的に学生の意見を聴取し、教職員で必要な支援体制を確立する。</p>			
5-6	保護者と適切に連携しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>保護者とのオリエンテーションや三者面談等の進路相談の場を設定するとともに、新修学支援新制度等必要な情報を適時家庭通信やホームページで提供し、保護者が相談し易い環境作りに努力している。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>保護者の意見を聴取し、更に適切な連携に努める。</p>			
5-7	卒業生への支援体制はあるか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>卒業生の就職先へ適宜会社訪問を行うとともに、現状を把握するとともに、インターンシップの機会に卒業生の激励や活躍状況の把握を行っており、卒業後も相談があればサポートする等支援体制も確立している。</p> <p>(課題)</p> <p>積極的な支援体制は整備できていない。</p>			

			(改善策) 就職支援体制の強化による積極的な卒業生への支援
5-8	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みがおこなわれているか	自己評価	4 3 ② 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 学園内の関連校と連携し、体験授業の受け入れを行うとともに、一貫したキャリア教育・職業教育に取り組んでいる。 (課題) 学園以外的高等学校との連携が不十分 (改善策) 学園以外新たな連携校の開拓の推進

(6) 教育環境

福岡市博多区の博多駅の近傍に位置しており、各社ディーラー等自動車関連の企業が多数集中する地域が、通学路と重なっていることから、職業意識の涵養や修学意欲の向上に適した恵まれた教育環境にある。

また、学生の居住する地域の近傍には、複数のディーラーや自動車整備工場が存在することから、希望のインターンシップ先で研修しやすい環境にある。

学校の施設・設備については、一級及び二級整備士養成施設として必要な基準を十分満たしており、施設の防火点検や車両用エレベーター等の保守点検等も定期的に受検し、法規適正に管理している。

	評価項目	評価結果				
6-1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 学校設置基準に基づき施設・設備を維持するとともに、計画的に必要な改修等に取り組み整備している。 (課題) 逐次進化する自動車の整備に必要な教材の確保 (改善策) 自助努力による施設・設備の整備による経費の節用と効果的な運用が必要である。			
6-2	学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 事務職員を含め組織的にインターンシップ先の確保及び研修状況の把握に努めているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できなかった。学校内の実習については、小グループによる密接かつ効果的な教育に努めている。 (課題) 留学生の増加に伴うインターンシップ受け入れ企業の確保が必要である。 (改善策)			

			各社ディーラーや各社整備工場との連絡の維持及び先行的な調整によるインターンシップ受け入れ企業の開拓
6-3	防災に対する体制は整備されているか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>事務職員の担当者を指定し、計画的に防災訓練、防火設備の点検等を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>

(7) 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、整備士への夢と希望を持った生徒、社会人、工業系自動車科・コース以外の出身者、留学生を、幅広く受け入れている。

地域的には九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与し、それぞれの担当区域内の高校訪問を計画的に実施し募集広報を行っている。

また、ホームページやパンフレット等、各種広報媒体に国家試験の合格状況や就職状況等の教育成果を正確に伝えている。

	評価項目	評価結果				
		自己評価	4	③	2	1
7-1	学生募集活動は、適正におこなわれているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>教職員による広報会議において年度における広報活動の取り組み方の共有を図り、教職員に広報担当区域を割り当てて高校訪問、進学ガイダンス等各種募集広報手段を駆使し学生募集活動を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>日本人学生、特に一級自動車整備士コースの確保とともに、コロナ過により減少している県外学生と留学生の確保が必要である。</p> <p>(改善策)</p> <p>日本人学生、特に一級自動車整備士コースの学生確保とともに、留学生募集広報の強化が必要である。</p>			
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>30年以上の高い就職実績と国家試験合格までの教育ノウハウ、多くの卒業生が自動車業界で活躍していることを、高校訪問やオープンキャンパス、進路ガイダンス等を通じ周知に努めている。また、留学生においては、横の繋がりによる募集広報の成果が上がっている。</p> <p>(課題)</p>			

			教職員及び事務職員の募集広報能力の向上 (改善策) 教職員及び事務職員の募集広報に係る勉強会及び機会教育の実施
7-3	校納金は妥当なものとなっているか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 県内の同種専門学校の校納金と比較しても低い金額となっており、保護者及び学生に配慮した設定であり妥当なものと思われる。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。

(8) 財務

学校法人都築学園全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

また、私立学校法や学園規程に基づき、公認会計士による監査を行い、評議員会、理事会に報告するとともに、ホームページ上で情報公開している。

	評価項目	評価結果				
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 学校法人全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。 (課題) コロナ過の影響を考慮した安定的な学生数の確保が重要である。 (改善策) 効果的かつ効率的な募集広報が必要である。			
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 前年度の収支の結果を踏まえ、今後も人件費の削減に取り組む等、より一層の改善を図るよう計画している。 (課題) 人件費の削減と安定的な学生数の確保が重要であると思料する。 (改善策) カリキュラムの見直し検討と効果的な募集広報の推進が必要である。			

8-3	財務について会計監査が適切に行われているか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 法人の規程に基づき、令和5年2月会計監査を受査し改善事項等もなく、適切に実施されている。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 法人本部と連携を取り、学校ホームページで公開している。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			

(9) 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、国土交通省の一級・二級整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準を遵守するとともに、福岡陸運局による立ち入り検査を受検する等、法規適正に学校運営を行っている。

また、自己点検・評価を行い問題点の改善を図るとともに、その結果を学校ホームページで情報公開している。

	評価項目	評価結果				
9-1	法令・専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	自己評価	④	3	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 法令・専修学校設置基準に基づき、法人本部と共に適正に校務運営を行っている。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			
9-2	個人情報に関してその保護のための対策がとられているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 法人の規程に基づき、個人情報資料の金庫等への保管等、適切に個人情報保護のための対策を行っている。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。			

9-3	自己評価の実施と問題点の改善をおこなっているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>教職員及び事務職員が毎年自己点検・評価アンケートを行い、種々の問題点を明確にしてその改善を行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>学校関係者による評価会議内容の反映</p> <p>(改善策)</p> <p>令和元年度以降、学校関係者評価を継続的に実施しており、本年度の自己点検・評価アンケート報告書に基づき令和5年5月実施予定である。</p>			
9-4	自己評価結果を公開しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>令和元年度より自己点検・評価結果を学校ホームページで公開している。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>特になし。</p>			

(10) 社会貢献・地域貢献

若者の車離れが進んでおり、車に興味を持つ若者が減少する中、自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知って貰うため積極的に体験学習等の授業を受け入れている。

また、留学生基礎自動車整備士コースでは、年2～3回、近隣の公民館で地域の住民と留学生の交流行事を催すとともに、年1回の献血や月1回の学校周辺地域の清掃活動を行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、限定的な清掃活動ボランティア1回のみの実施となった。

	評価項目	評価結果				
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっている	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>講習会場としての貸し出しや教材等の貸し出しを行っている。また、例年留学生基礎自動車整備士コースにおいて、年2～3回、近隣の公民館で地域の住民と留学生の交流行事を催すとともに、毎月学校周辺地域の清掃活動ボランティアを行っているが、コロナ禍においては実施が難しい状態であった。</p> <p>(課題)</p> <p>特になし。</p> <p>(改善策)</p> <p>地域の公民館と連携を取り、貢献できるよう推進する。</p>			

10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>地域公民館からの依頼で献血に参加するとともに、ボランティア活動に関するポスターを掲示し学生の啓蒙を図るとともに、ホームルームでの紹介等により活動の奨励している。</p> <p>(課題)</p> <p>学生のボランティア活動の状況の的確な把握</p> <p>(改善策)</p> <p>ボランティア活動に参加している学生の激励や輸送等の支援を積極的に行うとともに、ホームルームでの紹介、活動の様子の写真のホームページへの掲示等により継続的な学生の啓蒙を図る。</p>			
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	自己評価	4	3	②	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知って貰うため積極的に体験授業等を受け入れている。また、関連企業の外国人労働者に対する日本語教育を、本校で日本語教育を行っている非常勤講師が実施している。</p> <p>(課題)</p> <p>地域に対する公開講座・教育訓練受託のための態勢の確立</p> <p>(改善策)</p> <p>地域に対する公開講座・教育訓練の計画の具体化と積極的なPR</p>			

(11) 国際交流

少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ留学生基礎自動車整備士コースを設置し、海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして日本人学生と留学生の職業人養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

	評価項目	評価結果				
11-1	留学生の受け入れ・派遣について戦略を持っているか	自己評価	4	③	2	1
		具体的取り組みと課題・改善策	<p>(具体的取り組み)</p> <p>少子化による国内の慢性的な労働力不足、特に自動車業界の労働力不足を踏まえ留学生基礎自動車整備士コースを設置し積極的な留学生の受け入れを行っている。</p> <p>(課題)</p> <p>留学生基礎コースからメカニックコースに進級した留学生の確実な就職先の確保</p>			

			(改善策) インターンシップの機会等を活用し、自動車整備関連企業の外国人労働者に関する理解を促進する。
11-2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	自己評価	④ 3 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 関係法令に基づき、留学生の受け入れ、在籍管理等を適切に行っている。 (課題) 特になし。 (改善策) 特になし。
11-3	留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	自己評価	4 ③ 2 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) クラス担任及び同補助者を指定するとともに、教員・事務職員全体で留学生に関する学習・生活に係る情報を共有し、適切に学習・生活指導等ができるよう体制を整備している。 (課題) 職員に母国語が理解できる者がいないため、緊急な場合に留学生の保護者との会話が難しくなっている。 (改善策) 留学生の中から各国1名の通訳担当を選び、緊急の場合の未通訳を通して保護者との連絡が取れることが必要である。
11-4	学習成果が国内外で評価される取り組みをおこなっているか	自己評価	4 3 ② 1
		具体的取り組みと課題・改善策	(具体的取り組み) 自動車の最新技術等に係る即戦力となる高い技術力の習得を目指した教育を実施するとともに、受け入れ企業等の声を学校ホームページや学校案内に掲載している。 (課題) 学習成果の適切な把握と国内外への情報発信 (改善策) 学習成果の係数的な把握と学校ホームページ等での公表